

国立衛生研究所 (NIH)、チンパンジーを利用した実験縮小へ (12月15日)

米国医学研究所 (Institute of Medicine: IOM) と全米研究評議会 (National Research Council: NRC) は、研究におけるチンパンジー利用の必要性に関する調査報告書、「生物医学行動研究におけるチンパンジーの利用 ～必要性評価～ (Chimpanzees in Biomedical and Behavioral Research: Assessing the Necessity)」を発表した。本報告書は国立衛生研究所 (National Institutes of Health: NIH) の要請に応じて作成されたもので、生物医学研究におけるチンパンジーの利用を抑えるよう提言している。本報告書の発表を受け、フランシス・コリンズ NIH 所長 (Francis Collins) は、当面、チンパンジーを用いた研究に対する新規助成は行わないと発表した。また、コリンズ所長は、チンパンジーを用いた研究に関する審査・監督を行う省庁横断動物モデル委員会 (Interagency Animal Models Committee) の構成メンバーを連邦職員から民間有識者に変更し、本報告書が設定する基準に照らして研究申請内容を評価するという計画を明らかにしている。なお IOM は、公衆衛生の改善に結びつくことが確実な生物医学研究のうち、チンパンジーを用いない研究あるいは人間を用いた倫理的な研究を行うことができず、チンパンジーに対して生態学的に適切な住環境を提供できる場合に限り、チンパンジーを研究に利用することを認めている。

なお、本報告書は

<http://www.nap.edu/openbook.php?record_id=13257&page=1>からダウンロード可能。

Science Insider, *NIH Curtails Chimpanzee Research in Wake of IOM Report*

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2011/12/nih-curtails-chimpanzee-research.html>